



# 平成15年第1回 市議会定例会

# 市長が

(2ページから続く)

いりました中学校給食につきま  
しては、直営・委託の両面から検討  
を行い、委託の方向で行うこと  
になりましたが、地域の広さや食数  
及び委託先など、さらに検討すべ  
き課題があり、今しばらく時間を  
いただきたいと考えております。

かねて懸案となっていました  
(仮称)町田市教育センター整備  
事業につきましては、統廃合によ  
って廃校となった忠生四小跡を再  
整備し、活用を図っていくこと  
になりました。当面は、市内小・中  
学校の教職員の質向上を図るた  
めに研究・研修を行うことと、学  
校教育の振興、充実発展を図るた  
め、教育に関する専門的・技術的  
事項の調査研究を行います。ま  
た、学校教育相談を含む教育現場  
への支援・相談サービス等にも取  
り組みます。

次に、市内二か所目の子どもセ  
ンターとして、建設が待ち望まれ  
ていた(仮称)鶴川子どもセンタ  
ーは、旧鶴川中学校跡地に建設が  
始まります。完成は2005年3  
月を予定しており、建物の規模は



(仮)町田市教育センターが予定される忠生四小跡地

鉄筋コンクリート2階建て、延べ  
面積1500㎡で、学童保育クラ  
ブが併設されます。

また、玉川学園地区は山坂が多  
く、これまで地元元各種施設整  
備に対する要望に、なかなかお  
応えできない状況でしたが、三丁  
目の都営住宅建て替え用地に空  
地ができたため、都の協力をい  
たゞ学童保育クラブを併設した  
子どもセンター・ミニ版である子  
どもクラブ2号館がこの4月に開  
設されます。さらに、隣接した約  
3800㎡の敷地を「子ども広  
場」として整備しており、子ども  
クラブと一体となった子供たちの  
遊びの拠点として、また子育て支  
援の場としても、地元の方々から  
大きな期待が寄せられています。

町田市には、過去から現在に至  
るまで多彩な文学者が、活発な創  
作活動を行ってきました。現在、  
遠藤周作氏を始めとする著名な作  
家の膨大な遺品が市に寄贈され  
ていますが、それらを保存・展示  
し市民にひろく公開する場がなく  
これにこたえる施設の整備が待望

自主と連帯の精神で  
つくる福祉と健康のまち

一向に歯止めのかからない出生  
率の低下に対して、国を挙げて子  
育て支援策が取り組まれていま  
す。町田市でもこれに呼応して、  
これまで公立・民間保育所が連携  
し、長時間保育、休日保育、病後  
時・病中保育、一時保育など多様  
なメニューに取り組みとともに、  
子育て支援センターを核とした子  
育ての支援や幼児虐待の防止、病  
気や遠出によって子どもが面倒が  
見られない時に、一定期間子ども  
を預かるショートステイなど、子  
育て要望の多様化に対応した様々  
な施策を展開しています。さらに  
保育所入所待機児解消策として、  
毎年民間保育所の新設や分園建設  
に対して補助を行ってきました

が、02年度事業としては2園、03  
年度も2園が新設され、この4園  
で335人の待機児解消が図られ  
ます。

また、02年度、幼稚園に子ども  
を通わせている保護者に対する補  
助金を月額1000円引き上げ3  
000円としました。厳しい財政  
状況が続きますが、子育てに追わ  
れる保護者の負担軽減を図るた  
め、引き続きこの制度を守ってい  
きたいと考えております。

一方、これまで措置制度で行わ  
れていた、知的障がい者と身体障  
がい者の施設サービスと居宅サー  
ビスが、本年4月から契約に基づ  
く支援費制度に移行します。利用  
者が事業者を選び、直接契約する



鶴川中学校跡地に(仮称)鶴川子どもセンターが建設されます



健康福祉会館内に設置された「町田市準夜急患子どもクリニック」

ことにより、これまで以上に自  
分に合ったサービスを受けること  
が可能になると言われています。  
この制度発足に先立ち、厚生労働  
省がこれまで上限を設けていなか  
った、在宅障がい者へのホームヘル  
パーの派遣事業に対し、上限を  
設ける案を打ち出し、関係団体の  
猛反発を受けました。しかし、ま  
だ決着には至らず、国の当初案通  
りの場合には市の負担が大幅に膨  
らむことが予想され、今後も国の  
動きを注意深く見守って行く必要  
があります。

なお、新制度の発足に合わせて  
公設の「大賀藤絲館」及び「わか  
びだ療育園」、「すみれ教室」を  
支援費制度の対象施設とするた  
め、法上の認可施設として施設の  
改善を行い、利用者のサービス向  
上と選択幅の拡充を図ります。

さらに、現在精神障がい者に対  
し保健所から、社会復帰など限定  
的な相談業務が移譲されています  
が、新年度から病状の安定してい  
る方の生活・対人関係・服薬・医  
師との付き合い方などの一般相談  
も移譲されます。これにより、こ

うした方々に対する相談業務が、  
より身近な市役所でもできるよう  
になり、その家族も含めてより充  
実した支援が可能となります。

次に、かねてから懸案となつて  
おりました(仮称)木曾森野高齢  
者福祉施設は、高齢社会総合計画  
で、2004年度までに取り組む  
べき重点施策の一つとして位置づ  
けられています。これまで、地域  
パランスなどを考慮して、施設の  
建設・整備を計画的に進めてまい  
りましたが、本施設の建設をもつ  
て計画に基づく施設整備は一段落  
することになります。整備計画と  
しては、03年度で実施設計を完了  
させ、引き続き03・04年の二か年  
で建築工事を行い、2005年4  
月の開所を目指します。この施設  
の特徴は、施設入所希望待機者の  
緩和を図るための特別養護老人ホ  
ームと、ショートステイ、デイサ  
ービス、在宅介護支援センター、  
ヘルパーステーション等の介護保  
険機能とボランティア活動や地域  
活動をサポートする交流機能とを  
併せ持った、町田市としては初め  
ての多機能型高齢者福祉施設とな

ります。

また、民間の高齢者福祉施設整  
備支援として、金森の合掌苑が運  
営する養護老人ホームの建て替え  
に対し、03・04年の二か年にわた  
りその建設費の一部を助成しま  
す。

さて、小田急町田駅は、新宿駅  
に次ぐ乗降客があり、駅構内にト  
イレの設置を望む声が強く、小田  
急電鉄側もこうした要望にこたえ  
て、車椅子対応型の男女トイレを  
設置することになりました。本事  
業は、都のバリアフリー化整備事  
業の対象となるため、市もこの事  
業を積極的に支援し、公共空間の  
バリアフリー化促進のために、補  
助を行います。

次に、コミュニティ関連の施  
策につきましては、毎年各地域か  
らの要望にお応えして整備を進め  
ております中規模会館の建設は、  
「玉川学園三丁目」がこの4月  
に、「小山町馬場」と「金森西  
田」は新年度中に完成予定となつ  
ており、これで市内30か所に設置  
されることとなります。

近年、町内会・自治会の組織率  
が伸び悩んでいると耳にします。  
しかし、突発的な災害に見舞われ  
た場合、地域コミュニティがし  
っかりと組織されていれば、被害  
を最小限に食い止めることも可能  
です。そこで、町内会・自治会等  
の代表者を対象にした、地域安全  
をテーマにした研修会を引き続き  
実施してまいります。

町田市はNPO認証取得団体数  
が61団体(昨年末現在)と、三多  
摩でも第1位を占めています。こ  
のように、活発に市民活動が誕生す  
る土地柄こそ、町田市の地域特性  
ではないかと考えております。地  
方分権・市民との協働など、近年  
行政を取り巻く新たなキーワード  
を行政運営に活かすために、行  
政各分野における新たな協働の仕  
(4ページへ続く)